

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	813 キャリア教育推進事業	会計	01	一般会計
基本	31 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費
策		項	01	教育総務費
		目	03	義務教育振興費
	4 心の教育の推進	細目	102	児童生徒指導経費
		細々目	04	キャリア教育推進事業
基本計画該当員		127		行革大綱の重点事項番号
1				1
担当部課	コード	450300	評価者	古城 正美
	名称	教育部 学校教育課	氏名	
			連絡先	22 - 9676 (内線) 3820

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業目的 ・市内小中学校児童生徒 ・学校、家庭、地域、関係諸機関 (※対象件数 児童生徒7,765人)	・小学生が仕事調べ、仕事体験等を行うことで身のまわりの仕事や環境に関心を持ち、自分の将来について考えることができる。また、中学生が地元の企業等で職場体験を行うことで、自己の生き方や進路を見つめ直すことができる。 ・児童生徒のキャリア発達を育む連携システムが構築できる。
根拠法令・要綱等 開始年度 平成 17 年度 関連事業 終了年度 平成 年度	
事業内容 県の委託事業を受け、9中学校で職場体験学習を実施しました。(中学校の統合、校区再編のため3校は未実施)また、第4回伊賀市キャリアフォーラムを開催しました。	状況変化等 中学生を対象に連続5日間の職場体験を継続するとともに、小学校・中学校各段階を通じた体系的なキャリア教育を推進することで、児童生徒の職業観・勤労観を育むきっかけとなっている。特に、職場体験は、子どもたちの進路選択にとって重要な学習となっているとともに、地域の施設や企業の支援を得ることから、地域による学校支援の一端となっている。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
連続5日間の職場体験実施校数	校	目標 12 実績 12	目標 9 実績 9	11	11
伊賀市キャリアフォーラム開催回数	回	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
職場体験実施後のアンケート調査における生徒の満足度	自分の生き方や進路を見つめ直すことができたという生徒の割合	%	目標 95 実績 90	目標 95 実績 90	95	100
キャリア教育指導計画の作成校数	小学校段階からのキャリア教育の推進のため、発達段階に応じた指導計画が必要	校	目標 12 実績 12	目標 37 実績 15	36	36

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	・フリーターやニートの増加が社会問題となる中で、中学生の時期に地元の企業等で職場体験をすることは、自分の生き方や進路を見つめ直す機会となる。 ・キャリアフォーラムを継続して開催し、学校・家庭・地域・企業などと連携を図っていくことは今後も重要である。
有効性	3	・自分の将来の生き方や進路を模索し始める中学生を対象とし、学校・家庭・地域社会が一体となって実施している職場体験活動は、今まで気づけなかった自分に出会って確かな進路選択につながっている。 ・フォーラムにおいて小・中学校教職員・保護者・企業・地域が、子どもたちのキャリア形成について考え合えた。
達成度	4	・中学生の職場体験活動、キャリアフォーラムについては、概ね達成できた。 ・小学校段階からの体系的なキャリア教育の推進のあり方、キャリアフォーラムへの高校の参画は今後の課題となった。
効率性	4	・費用を有効に活用し、事業を進めることができている。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	キャリア教育を小中学校において、系統的に進めていくために、学校・地域との協働によるキャリア教育実践事業「各中学校段階を通じた体系的なキャリア教育実践研究」に取り組んでいく。

年度	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容				
	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額		
進捗状況	委託	12校	1,200	9校	800	11校	1,720	11校	1,200	11校	1,200	11校	1,200	11校	1,200	11校	1,200	11校	1,200	
	工事	37校	1,876	37校	1,876	36校	2,000	36校	2,000	36校	2,000	36校	2,000	36校	2,000	36校	2,000	36校	2,000	
進捗率(%)																				
事業費計(A)		Σ	1,200	Σ	2,676	Σ	4,020	Σ	3,500	Σ	3,500	Σ	3,500	Σ	3,500	Σ	3,500	Σ	3,500	
事業投入人員		人件費(B)	0.4人	2,880	0.4人	2,880	0.4人	2,880	0.4人	2,880	0.4人	2,880	0.4人	2,880	0.4人	2,880	0.4人	2,880	0.4人	2,880
フルコスト(A)+(B)			4,080		5,556		6,900		6,380		6,380		6,380		6,380		6,380		6,380	

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	1,200	2,676	4,020	3,500	3,500	3,500						
Aの財源内訳	国庫支出金											
	県支出金	750	400	960	900	300						
	地方債											
	受益者負担											
	その他											
一般財源	450	2,276	3,060	2,600	3,200	3,200						
計	1,200	2,676	4,020	3,500	3,500	3,500						
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・地方債の区分と充当率等		特色ある学校教育推進事業委託料からキャリア形成事業費として組み替える。(2,230千円)中学生・地域ふれあい事業は1/2県費。H22年度で県補助事業が終了するため、細々目を「キャリア教育推進事業」と変更する。		・中学生・地域ふれあい事業1/2以内県費 ・学校・地域との協働によるキャリア教育実践事業		・中学生・地域ふれあい事業1/2以内県費 ・学校・地域との協働によるキャリア教育実践事業		・学校・地域との協働によるキャリア教育実践事業 ・中学生・地域ふれあい事業(1/2県費)が終了となるため、市単独予算で実施予定		・学校・地域との協働によるキャリア教育実践事業 ・中学生・地域ふれあい事業(1/2県費)が終了となるため、市単独予算で実施予定	